



No.10

北アルプス地域の 里山の生き物の つながりを学ぶ

北アルプス森林組合

北アルプス森林組合は長野県の北西部に位置し、北アルプス連峰を抱える中部山岳地域の雄大な自然の中で活動する林業事業体です。当地域を森林で見ると、全国的に見ても人工林率が低い(30%未満)地域であります。また、自然植生が豊かな雄大な北アルプスが眼前に迫る当地域は観光地としてもとても人気が高く、雪に覆われる冬場はスキー客で賑わいます。我々北アルプス森林組合では従来の林業に留まらず、生活資源として、観光資源として、また未来へ残す豊かな環境としての山づくりを行っていき、当地域にあった森林経営の方法を日々模索しています。

4 質の高い教育をみんなに

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさも守ろう

実施可能時期	5月～11月
所要時間	最短2時間～
対象	小学生・中学生
対応可能人員	～20人 ※上限以上は別途相談

～北アルプス森林組合のSDGs活動～

■森林整備事業

森林整備事業を行い北アルプス地域の景観を保全することで、人類存続に欠かせない生物多様性の保全に貢献しています。



🕒 プログラムの流れ

昼の部 ストレッチ 森林散策(20分) = 生きもの探索(40分～60分) レクチャー ===ふりかえり(40分)=== 森林散策(20分)	自由行動 リラックス 森林散策(20分)
夜の部 レクチャー 事前説明・準備(40分) = 林道探索(40～60分) = ライトトラップ設置(10分)	

Learning Point

探究学習のポイント

事前学習

課題の明確化

全てのいきものはつながっています。そのおかげで生命は巡っています。人間も例外ではありません。しかし、人間の暮らし方によって地球からいきものが急激に減り続けているといわれています。どうすればいきものも自分たちの暮らしも同じように大切にできるか考えてみましょう。

現地学習

答えを導く

北アルプス地域はいきものの宝庫です。日本を代表する高山、湿原、スキー場などの草原、それらと一体になった美しい景観があります。その中には多雪地域の特徴を反映した広葉樹の森林がたくさん残っていることが北アルプス地域の最大の特徴です。広葉樹の森に生えている植物、それを食べる昆虫や野鳥などの動物などの多様ないきものを観察しながら、人間が森林の手入れを行うことでいきもの多様性が保たれている里山の仕組みを学びます。

事後学習

掘り下げる

家族や友達といきもの大切さを共有しましょう。また、それぞれの地域に暮らすいきものを調べ、現地学習で覚えたいきものを見つけるコツを活かしているような季節にいろんな場所にいきものをさがしに行ってみましょう。自分の住んでいる地域のいきもの暮らしを大切にするにはなにができるか考えてみましょう。



北アルプス地域の 里山の生き物のつながりを学ぶ

事前学習

課題の明確化

全てのいきものはつながっています。そのおかげで生命は巡っています。人間も例外ではありません。しかし、人間の暮らし方によって地球からいきものが急激に減り続けているといわれています。どうすればいきものも自分たちの暮らしも同じように大切にできるか考えてみましょう。

現地学習

答えを導く

北アルプス地域はいきもの宝庫です。日本を代表する高山、湿原、スキー場などの草原、それらと一体になった美しい景観があります。その中には多雪地域の特徴を反映した広葉樹の森林がたくさん残っていることが北アルプス地域の最大の特徴です。広葉樹の森に生えている植物、それを食べる昆虫や野鳥などの動物などの多様ないきものを観察しながら、人間が森林の手入れを行うことでいきもの多様性が保たれている里山の仕組みを学びます。

事後学習

掘り下げる

家族や友達といきもの大切さを共有しましょう。また、それぞれの地域に暮らすいきものを調べ、現地学習で覚えたいきものを見つけるコツを活かしているんな季節にいろんな場所にいきものをさがしに行ってみましょう。自分の住んでいる地域のいきもの暮らしを大切にするにはなにができるか考えてみましょう。